

## 第2回教育関連学会連絡協議会総会・議事要旨

日 時：2014年3月15日（土）13時～13時40分

場 所：筑波大学東京キャンパス文京校舎・地下1階多目的講義室

### <議事次第>

#### 報告事項

1. 結成時の加盟学会の誤記の修正
2. ホームページの開設について（資料1）
3. 本日のシンポジウム開催の経緯（資料2）
4. 会計報告

#### 審議事項

1. 参加希望学会（日本学習社会学会）の加盟について
2. 会計年度の決定について
3. 次年度の活動計画
4. 会計報告の審議と承認（資料3）

### <資料>

1. ホームページの素案
2. シンポジウムのチラシ
3. 会計報告書

### <議事要旨>

1. 加盟団体71団体のうち、本日の出席数46、委任状13、合計59となり定足数（過半数36）を満たすため本総会は成立することが確認された。

2. 報告事項

- (1) 結成時の加盟学会の誤記の修正

関係性の教育学会が非加盟であるにもかかわらず、加盟団体に含まれていることが判明した。また、日本フランス語教育学会は加盟を検討中でありこちらも現時点では加盟団体ではないため、結成時の団体数を71から69に修正する。

- (2) ホームページの開設について

加盟団体間の連絡や情報提供の場としてホームページを開設する。資料のようなトップページまで完成しており、6月中に全体が稼動する予定である。事務局で内容を更新できるようにするとともに、メールアドレスも協議会独自のものを用意し、今後の連絡に利用する。内容は、協議会の活動状況や運営委員会・総会の議事録、加盟団体の情報などを掲載

し、相互の交流に役立てられるよう準備を進めている。費用は初期費用が 35 万円程度、維持費として年間 6 万 5 千円程度かかる。

(3) 本日のシンポジウム開催の経緯（金子事務局長より）

テーマや登壇者を紹介。12 日の朝日新聞へ掲載したところ、事務局へ 15 件程度の問い合わせがあったことが報告された。佐藤代表より、今回は運営委員会で企画したが、今後は加盟団体からの提案があれば取り入れて実施するようにしたいとの補足があった。

(4) 会計報告

資料のとおり、支出見込み額を含んだ本日現在の会計報告がされた。消耗品費のうちノートパソコン代を備品購入費に修正する。会費未納の団体が 9 団体あるので、引き続き納入をお願いしてゆく。

### 3. 協議事項

(1) 参加希望学会の加盟について

日本学習社会学会が加盟を申請している。承認され、加盟団体数は 70 となった。ここで、日本学習社会学会の岩崎正吾氏より挨拶があった。

(2) 会計年度の決定および会計報告の承認について

総会とシンポジウムの開催を毎年 3 月に予定しているため、会計期間を 2 月開始、翌年 1 月末締めとしたい。現在納入済みの会費については 2013 年度分として取り扱うこととする。また、先に報告した会計報告を 2013 年度として 1 月末締めで修正することとし、あわせて承認された（修正後の会計報告は後日配布）。予算計画については、次年度より作成することが承認された。

(3) 次年度の活動計画

毎年 3 月の第 2 土曜日に総会とシンポジウムを開催する。次回は 2015 年 3 月 14 日とすることで承認された。シンポジウムのテーマについては、9 月の運営委員会までに各団体の提案があればあげていただきたい。

### 4. 質疑応答・意見交換（主なもの）

- ・ホームページについて、各団体が意見等を投稿するかたちで交流できる広場のようなコーナーが欲しい。→業者に確認し、可能な方法で作成する。
- ・協議会の今後の方向性について、位置づけが異なる団体が、それぞれ重要視している問題について意見を交わしたい。次の段階として、共通に考えるべきことを模索していけるような活動にしてゆきたい。
- ・協議会の活動目的のなかに、関連する学会の研究活動をまとめて学術会議等でアピールする、あるいは共通する問題について連携して提言してゆくようなことも掲げられていたが、今後どうまとめてゆくのか。→今回の教育委員会制度改革については間に合わなかったが、各団体が連合して政策提言することも今後ありうる。大きな問題

として教員養成や学習指導要領の問題があるが、他にも必要があれば提起していただき、呼びかけて協議会の提言としてまとめたい。

・シンポジウムのやり方について、あるテーマを掲げ、適任者を推薦して実施する方法を取り入れてはどうか。また、各学会から互いに討論者を出し、持ち回りで開催するやり方もある。運営委員会が主導するのではなく、関連する問題を共有できるようなシンポジウムを企画すれば議論が活性化されるのではないか。

→連携のしかた、シンポジウムの持ち方については多様な方法が考えられる。当面は上記のような意見が反映できるような仕組みとしてホームページの整備を進めたい。

・運営委員会および総会議事録はホームページに掲載されるか。→掲載する予定だが、6月より運用開始のため今回については直接各団体へ配布する。

## 5. その他

加盟団体の活動について、本協議会が自動的に後援するようになりたいと佐藤代表から提案があった。団体単独の活動でも可とし、事務局へ連絡いただいてホームページに掲載する、終了後に活動報告をすることで承認された。

また、次年度のシンポジウムについての要望・意見をアンケート形式でおたずねする。9月の運営委員会前に取りまとめる予定である。

以上